

科目名		工業英語 I (English for Engineering I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	物質工学科	学修	1単位	必修	講義	前期 100分/週	45時間		
担当教員		【常勤】 根来宗孝							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1) 辞書がなくても英文の大意を把握できること。 (2) 英文の構成が理解できること。 (3) 重要な英文法が理解できること。 (4) 正しく発音することの重要性が認識できること。								
学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)		(f)					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「耳から学ぶ科学英語」 野ロジュディ著 (講談社サイエンティフィック)								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
	総合評価割合	35	35		30				100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	○	○		○					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	◎		◎					
汎用的技能 【情報収集・活用・発信 力】				○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>これまで英単語・英熟語をさんざん覚えてきたと思います。こうした英熟語などの多くはわたしたちの感情や行動を表現するための日常のことばです。理工学系の教科書や論文にはこのようなことばは登場しません。科学英語で使用される熟語や動詞に着目し、授業内容を十分に理解するように努めること。またレポートでは、本人が卒業研究などで取り組んでいる課題に関する英文の論文を取り上げ、その内容を報告すること。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	Lesson 1/ 英文演習	整数の表現を理解することができる。	予習教科書p7-9の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
2	Lesson 2	寸法の表現を理解することができる。	予習教科書p10-11の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
3	Lesson 3/ 英文演習	分数、小数の表現を理解することができる	予習教科書p12-13の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
4	Lesson 4	数式の表現を理解することができる。	予習教科書p14-16の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
5	Lesson 5/ 英文演習	日常的な数の表現を理解することができる。	予習教科書p17-20の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
6	Lesson 6	数詞の表現を理解することができる(1)。	予習教科書p21-25の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
7	Lesson 7	数詞の表現を理解することができる(2)。	
8	中間試験		
9	Lesson 8/ 英文演習	序数の表現を理解することができる。	予習教科書p26-27の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
10	Lesson 9	数の接頭語の表現を理解することができる。	予習教科書p28-30の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
11	Lesson 10/ 英文演習	単位の接頭語の表現を理解することができる。	予習教科書p31-33の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
12	Lesson 11	複雑な数式の表現を理解することができる。	予習教科書p34-38の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
13	Lesson 12/ 英文演習	実験器具の表現を理解することができる(1)。	予習教科書p39-46の該当箇所を読み、復習はノートで知識を定着させること。
14		実験器具の表現を理解することができる(2)。	
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総学習時間数			45 時間
講義			25 時間
自学自習			20 時間